令和4年4月12日

# 台東区内のハラール・ヴィーガン・ベジタリアン対応店舗を掲載
# 食の多様性対応マップ を作成しました

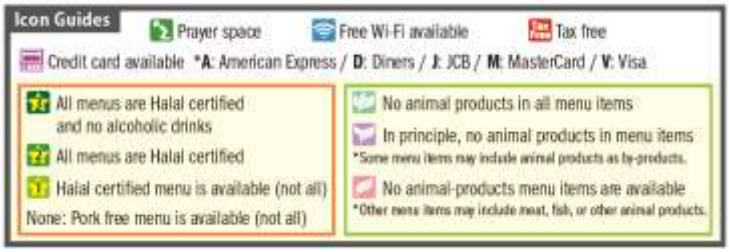
区は、ムスリム（イスラム教徒）旅行者やヴィーガン・ベジタリアン等の方に対し、「食の多様性」に対応した台東区の魅力をPRし、安心安全に観光を楽しんでいただくため、『食の多様性対応マップ』（デジタル版）を作成しました。

当マップは、「上野及び谷中エリア」と「浅草エリア」の2エリアに分け、ハラール認証取得飲食店（計 9 店舗）、ヴィーガン・ベジタリアンメニュー対応飲食店（計 17 店舗）の営業情報やメニュー等のほか、ハラール認証の段階やヴィーガン・ベジタリアンの対応レベルに応じたアイコンを各店舗に表示しています（詳細下記参照）。また、飲食店以外にも、モスクや礼拝室、お土産店情報、観光情報なども掲載しています。

区では、マップを作成・発信することにより、ベジタリアン・ヴィーガンの国内需要(※1)への対応や、インバウンド回復期における外国人観光客の消費誘導と満足度向上、さらにはSDGsの目標(※2)達成を目指します。

■掲載 URL
https://www.city.taito.lg.jp/bunka_kanko/anzentaisaku/yukyaku/tourist/1.html
※デジタル版のみ（紙面での発行は行いません）

例：浅草エリア　　アイコン表示部分拡大




アイコン表示部分日本語訳

ハラール認証の段階に応じて下記アイコンを表示

- すべてハラールメニューでアルコール提供なし
- すべてハラールメニューでアルコール提供あり
- 一部がハラールメニュー

星なし：一部豚肉を使用しないメニューあり

ベジタリアン・ヴィーガン対応レベルに応じて下記アイコンを表示

- 全メニュー動物性食品不使用（完全採食）
- 基本的には動物性食品不使用。副生産品としての動物性食品は含まれる場合がある
- 対応食も提供するが、肉、魚その他の動物性製品がメニューに含まれる場合がある

【発信元】台東区総務部広報課　TEL：03-5246-1021

## ■ 担当部署からのコメント

観光課の平林正明課長は、「台東区を訪れるすべての旅行者が安心して飲食し、観光を楽しんでもらえるよう、この『食の多様性対応マップ』を役立てていただきたい。」と話しています。

※1：(株)フレンバシー『第3回日本のベジタリアン・ヴィーガン・フレキシタリアン人口調査　by Vegewel』によると、日本のベジタリアン率は5.1%、週に1日以上、意識的に動物性食品を減らす食生活を送る人と定義した「フレキシタリアン」は15.8%。

※2：(株)Reinvent が運営する情報メディア『ハッピーキヌア』掲載記事「今さら聞けない「SDGs」とは」(https://happy-quinoa.com/vegan-about-sdgs)によると、SDGsの17の目標のうち、ヴィーガン対応により達成につながる目標は8項目に該当。

≪本件に関するお問合せは、下記までお願いします≫
観光課
TEL：03-5246-1150